

経営発展モデル

農林水産ビジョン2035のめざす姿「基本方向1 収益性の高い農林水産業の実現」の実現に向けては、農林漁業者の収益力を高め、所得の向上を図ることが必要です。ここでは、多様化する農林水産業経営の参考資料として、県下の優良事例を参考に県が考案した実現可能性の高い経営発展モデルを掲載しています。

農業

① 土地利用型作物における農業経営発展モデル

	モデルのポイント	経営形態	労働力	経営規模	所得
	<ul style="list-style-type: none"> 農業機械及び施設を親から継承 一部の水稻ほ場で有機農業を实践 高収益作物(黒大豆等)の導入 	個人経営	<ul style="list-style-type: none"> 常時 1人(本人) 	<ul style="list-style-type: none"> うるち米 2ha 酒米 2.7ha 	本人所得 200万円
	<ul style="list-style-type: none"> 枝豆栽培を通じたオープンファームによる消費者との交流 	家族経営	<ul style="list-style-type: none"> 常時 2人(本人+家族1人) 臨時雇用 15人 	<ul style="list-style-type: none"> うるち米 8ha 黒大豆 3ha(枝豆1ha含む) 水稻作業受託(耕起~乾燥調製) 4ha 	世帯所得 600万円
	<ul style="list-style-type: none"> ドローンを用いた水稻直播等による省力、低コスト化 農福連携による働き手の確保 	法人経営	<ul style="list-style-type: none"> 常時 11人(代表者+役員2人+雇用8人) 	<ul style="list-style-type: none"> 水稻 60ha 黒大豆 26ha(枝豆6ha含む) 白大豆枝豆 2.5ha 	役員報酬合計 3,000万円

② 野菜における農業経営発展モデル

	モデルのポイント	経営形態	労働力	経営規模	所得
	<ul style="list-style-type: none"> 認定新規就農者を支援する施策を活用 都市近郊の立地を活かした直売所中心の販売 	個人経営	<ul style="list-style-type: none"> 常時 1人(本人) 臨時雇用 1人 	<ul style="list-style-type: none"> 施設大玉トマト 3.6a 施設ミニトマト 3.6a 	本人所得 200万円
	<ul style="list-style-type: none"> 環境制御機器を活用した市場出荷中心の養液土耕栽培 	法人経営	<ul style="list-style-type: none"> 常時 4人(代表者+雇用3人) 臨時雇用 7人 	<ul style="list-style-type: none"> 施設トマト 40a 施設きゅうり 20a 	役員報酬 600万円
	<ul style="list-style-type: none"> トマト長期多段栽培と露地野菜の組み合わせ 有機農業やCSAの取組の組み合わせによる高単価販売 	法人経営	<ul style="list-style-type: none"> 常時 14人(代表者+役員1人+雇用12人) 	<ul style="list-style-type: none"> 施設トマト 13a 露地野菜 1.3ha(スイートコーン、ほうれんそう、にんじん等) 	役員報酬合計 1,000万円

③ 果樹における農業経営発展モデル

	モデルのポイント	経営形態	労働力	経営規模	所得
	<ul style="list-style-type: none"> 認定新規就農者を支援する施策を活用 都市近郊の立地を活かした直売所中心の販売 	個人経営	<ul style="list-style-type: none"> 常時 1人(本人) 	<ul style="list-style-type: none"> 大粒系ぶどう 20a 	本人所得 200万円
	<ul style="list-style-type: none"> 管理施設及び一部の農業機械を地域の生産者と共同利用 	家族経営	<ul style="list-style-type: none"> 常時 2人(本人、家族1人) 	<ul style="list-style-type: none"> 大粒系ぶどう 50a 	世帯所得 600万円
	<ul style="list-style-type: none"> 高齢の生産者から園地を引き受けるなど設備投資を抑えた規模拡大 	家族経営	<ul style="list-style-type: none"> 常時 5人(本人、家族1人、雇用3人) 臨時雇用 3人 	<ul style="list-style-type: none"> 大粒系ぶどう 1.5ha 	世帯所得 1,000万円

畜産業

① 畜産業(但馬牛繁殖)における経営発展モデル

モデルのポイント	経営形態	労働力	経営規模	所得
<ul style="list-style-type: none"> 雇用就農から独立就農へ 賃貸牛舎で独立就農開始 	個人経営	<ul style="list-style-type: none"> 常時 1人(本人) 	<ul style="list-style-type: none"> 繁殖牛 25頭 育成牛 5頭 	本人所得 300万円
<ul style="list-style-type: none"> 稲WCSなど自給飼料生産の実践 スマート機器の導入 	家族経営	<ul style="list-style-type: none"> 常時 2人(本人+家族1人) 	<ul style="list-style-type: none"> 繁殖牛 50頭 育成牛 10頭 飼料作物等 延べ5ha 	世帯所得 600万円
<ul style="list-style-type: none"> 繁殖專業経営による大規模化(法人化) 機械化による飼料給与作業等の省力化(よりスマート化が進む) 自給飼料生産の外部委託 	法人経営	<ul style="list-style-type: none"> 常時 3人(代表者+役員1人+雇用1人) 臨時雇用 1人 	<ul style="list-style-type: none"> 繁殖牛 80頭 育成牛 16頭 飼料作物等 延べ8ha 	役員報酬合計 1,200万円


② 畜産業(肉用牛肥育・繁殖一貫)における経営発展モデル

モデルのポイント	経営形態	労働力	経営規模	所得
<ul style="list-style-type: none"> 家族專業による繁殖と肥育の一貫経営 稲WCSなど自給飼料生産の実践 	家族経営	<ul style="list-style-type: none"> 常時 4人(本人+家族1人+雇用2人) 	<ul style="list-style-type: none"> 繁殖牛 50頭 育成牛 10頭 肥育牛 100頭 飼料作物等 延べ5ha 	世帯所得 600万円
<ul style="list-style-type: none"> 繁殖肥育一貫経営の大規模化 経営の法人化 自動給餌器の導入や生態モニタリングを活用したスマート畜産の推進 	法人経営	<ul style="list-style-type: none"> 常時 6人(代表者+役員1人+雇用4人) 	<ul style="list-style-type: none"> 繁殖牛 100頭 肥育牛 300頭 	役員報酬合計 1,000万円
<ul style="list-style-type: none"> 自社精肉店等の運営による経営の多角化の取組 	法人経営	<ul style="list-style-type: none"> 常時 6人(代表者+役員1人+雇用4人) 常時 2人(役員1人+雇用1人) 臨時雇用 1人 	<ul style="list-style-type: none"> 繁殖牛 100頭 肥育牛 300頭 6次産業化経営 	役員報酬合計 2,000万円

③ 畜産業(乳用牛)における経営発展モデル

モデルのポイント	経営形態	労働力	経営規模	所得
<ul style="list-style-type: none"> つなぎ飼い牛舎 稲WCSなど自給飼料生産の実践 	家族経営	<ul style="list-style-type: none"> 常時 2人(本人+家族1人) 	<ul style="list-style-type: none"> 乳用牛 65頭(経産牛44頭、育成牛21頭) 飼料作物 延べ4ha 	世帯所得 600万円
<ul style="list-style-type: none"> フリーストール、フリーバーン牛舎の利用 	法人経営	<ul style="list-style-type: none"> 常時 4人(代表者+役員1人+雇用2人) 臨時雇用 1人 	<ul style="list-style-type: none"> 乳用牛 150頭(経産牛100頭、育成牛50頭) 飼料作物等 10ha(自給飼料) 	役員報酬合計 1,000万円
<ul style="list-style-type: none"> 搾乳ロボットやセンシング機器等を導入した効率的な大規模酪農経営 和牛の受精卵移植による子牛の高単価販売 	法人経営	<ul style="list-style-type: none"> 常時 4人(代表者+役員1人+雇用2人) 臨時雇用 1人 	<ul style="list-style-type: none"> 乳用牛 150頭(経産牛100頭、育成牛50頭) 飼料作物等 10ha(自給飼料) 	役員報酬合計 1,500万円
<ul style="list-style-type: none"> 6次産業化による経営の多角化 	法人経営	<ul style="list-style-type: none"> 常時 3人(役員1人+雇用2人) 	<ul style="list-style-type: none"> アイスクリーム 8t/年 	


林業



モデルのポイント	経営形態	労働力	経営規模	所得
<ul style="list-style-type: none"> 森林大学校卒業後に雇用就業 	雇用就業	—	—	本人所得 300~600万円
独立				
<ul style="list-style-type: none"> 高性能林業機械を用いて低コストな利用間伐や主伐を行い、主伐後の再造林も実施 	法人経営	<ul style="list-style-type: none"> 常時 4人 (代表者+雇用3人) 	<ul style="list-style-type: none"> 主伐・再造林 10ha 利用間伐 10ha (素材生産7,000m³) 	役員報酬 700万円
<ul style="list-style-type: none"> 高性能林業機械を用いた低コストな主伐や利用間伐による素材生産を実施 	法人経営	<ul style="list-style-type: none"> 常時 4人 (代表者+雇用3人) 	<ul style="list-style-type: none"> 主伐 16ha 利用間伐 7ha (素材生産10,000m³) 	役員報酬 1,200万円

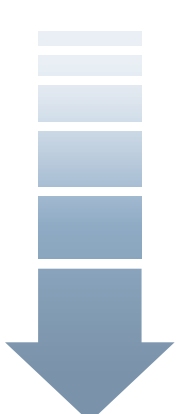
水産業

① 瀬戸内海漁業における経営発展モデル



モデルのポイント	経営形態	労働力	経営規模	所得
<ul style="list-style-type: none"> 親方の元で研修(2~3年) 	雇用就業	—	—	本人所得 200万円
<ul style="list-style-type: none"> ノリ養殖業の大規模協業化による経営の効率化・基盤強化 AI技術を導入した色調検査機、自動観測機器による漁場環境モニタリングの活用等による効率的な生産 	グループ経営	<ul style="list-style-type: none"> 常時 10人 (本人+共同経営9人) 	<ul style="list-style-type: none"> ノリ養殖生産枚数 1,600万枚 漁船漁業水揚金額(マダイ、カレイ等) 400万円 	本人所得 1,000万円

② 日本海漁業における経営発展モデル



モデルのポイント	経営形態	労働力	経営規模	所得
<ul style="list-style-type: none"> 船主の元で雇用就業 	雇用就業	—	—	本人所得 550万円
<ul style="list-style-type: none"> 漁船内への高鮮度保持設備の導入による高付加価値化 省エネ型漁船や機関、省力化機器の導入等により、コスト低減と快適な漁業労働環境を実現 	法人経営	<ul style="list-style-type: none"> 常時 11人 (代表者+雇用10人) 	<ul style="list-style-type: none"> 沖合底びき網漁業 総トン数 125 t 	役員報酬 1,000万円

○ 諮 問

諮問第5号

農林水産政策審議会

ひょうご農林水産ビジョン2030の見直しについて(諮問)

このことについて、下記により、貴審議会に諮問します。
「ひょうご農林水産ビジョン2030」について、農林水産業及び農山漁村をめぐる情勢の変化に対応し、施策を効果的に進めるための所要の見直し

令和6年6月27日

兵庫県知事 齋藤 元彦

○ 答 申

令和8年1月13日

兵庫県知事 齋藤 元彦 様

農林水産政策審議会
会長 小田 滋晃

ひょうご農林水産ビジョン2030の見直しについて(答申)

令和6年6月27日付け諮問第5号で諮問のあった標記のことについては、審議の結果、別添のとおり答申します。

本答申は、新たな農林水産ビジョン案について、国の施策の方向性や兵庫の強み、特性、実情を踏まえた指針を示し、次代につなぐ環境と調和のとれたひょうご五国の農林水産業・農山漁村の実現をめざしてとりまとめたものです。

新たな農林水産ビジョンの推進にあたっては、県の施策、予算、執行体制等について格別の配慮を払われるとともに、めざす姿の実現に向けた取組を積極的に展開いただきますようお願いいたします。

● 農林水産ビジョンの見直しに係る農林水産政策審議会における審議経過

審議会	開催年月日	内 容
第1回 総会	令和6年6月27日	諮問、農林水産を取り巻く情勢の確認 等
第1回 企画部会	令和6年8月27日	現行ビジョンの評価・検証 等
第2回 企画部会	令和6年10月24日	新ビジョンの具体的な課題、見直しの方向性等
第3回 企画部会	令和6年11月28日	農林水産業事業者アンケート及び現地調査結果報告、新ビジョンのめざす姿、施策体系案 等
第2回 総会	令和7年1月30日	新ビジョン骨格案 等
第4回 企画部会	令和7年6月20日	施策展開、指標案(総括的指標、成果指標) 等
第5回 企画部会	令和7年8月12日	新ビジョン答申(素案)、ひょうごみどり白書2025(素案)
第3回 総会	令和7年10月27日	新ビジョン答申(素案)
第4回 総会	令和7年12月11日	新ビジョン答申(案)

●農林水産政策審議会 委員名簿（令和8年1月13日現在 50音順・敬称略）

氏名	所属等	役職	委員変更日
相田 欽司	仮屋漁業協同組合 代表理事組合長		
井藤 絵美	チームしんすけ農場		
岩城 紀子	Smile Circle(株) 代表取締役		
大山 憲二	神戸大学大学院農学研究科 教授		
尾崎 吉晴	兵庫県町村会 理事(福崎町長)		
小田 滋晃	京都大学 名誉教授	会長	
衣笠 智子	神戸大学大学院経済学研究科 教授		
清元 秀泰	兵庫県市長会(姫路市長)		
田沼 政男	兵庫県漁業協同組合連合会 代表理事会長		
辻村 英之	京都大学大学院農学研究科 教授	副会長	
都藤 元彦	(株)都藤商店 専務取締役		
中塚 雅也	神戸大学大学院農学研究科 教授	部会長	
中村 貴子	京都府立大学大学院生命環境科学研究科 准教授		
中山 晋吾	兵庫県農業経営士会 会長		
野村 俊彰	兵庫県木材業協同組合連合会 会長		
長谷川 尚史	京都大学フィールド科学教育研究センター 准教授		
原 智宏	兵庫県農業法人協会 会長		令和7年4月19日から
原田 俊一	ひょうご卸売市場協働ネットワーク協議会 副会長		令和6年8月1日まで
福永 庸明	イオンアグリ創造(株) 代表取締役社長		
福本 博之	兵庫県農業協同組合中央会 代表理事会長	副会長	
藤井 洋一	(株)神戸新聞社 論説副委員長		
淵上 由美子	兵庫県女性農漁業士会 会長		
船越 照平	(一社)兵庫県食品産業協会 会長		
坊垣 昌明	兵庫県土地改良事業団体連合会 副会長理事		
堀 豊	吉備国際大学農学部海洋水産生物学科 教授		
松波 知宏	(株)ワールド・ワン 執行役員		
皆川 芳嗣	一般社団法人日本農福連携協会 会長理事		
八木 隆博	兵庫県農業法人協会 会長		令和7年4月18日まで
安福 武之助	(株)神戸酒心館 代表取締役社長		
吉川 和男	ひょうご卸売市場協働ネットワーク協議会 副会長		令和7年10月29日から
米井 丈人	ひょうご卸売市場協働ネットワーク協議会 副会長		令和6年8月2日から 令和7年10月28日まで

※ 委員任期:令和6年6月27日～令和8年6月26日



兵庫県

編集／兵庫県農林水産部

神戸市中央区下山手通5-10-1

TEL:078-341-7711(代表) FAX:078-362-4458(総合農政課)

令和8年3月